

次世代社会インフラ用ロボット技術・ロボットシステムの公募 (4/9-5/28)

国土交通省

- 維持管理(橋梁、トンネル、水中)及び災害対応(調査、応急復旧)に役立つ技術として、「現場検証・評価」の対象とする「ロボット技術・ロボットシステム」を募集
- 国土交通省の直轄現場等において、現場検証・評価を行い、その技術の実用性を確認し、その結果を踏まえ、活用、開発・改良を促進
- 「次世代社会インフラ用ロボット現場検証委員会」において、現場検証及び評価を実施

【公募技術】

公募要領等は、
国土交通省ホームページに掲載

－対象分野－

- I 『橋梁・トンネル・水中(ダム、河川)の点検』用のロボット技術・ロボットシステム
- II 『災害調査・災害応急復旧』用のロボット技術・ロボットシステム

－対象技術－

- a) 現場検証を通じ実用性の確認やその更なる向上が期待される実用化技術
- b) 短期(概ね3年以内)に実用化が見込まれる技術

【応募者】

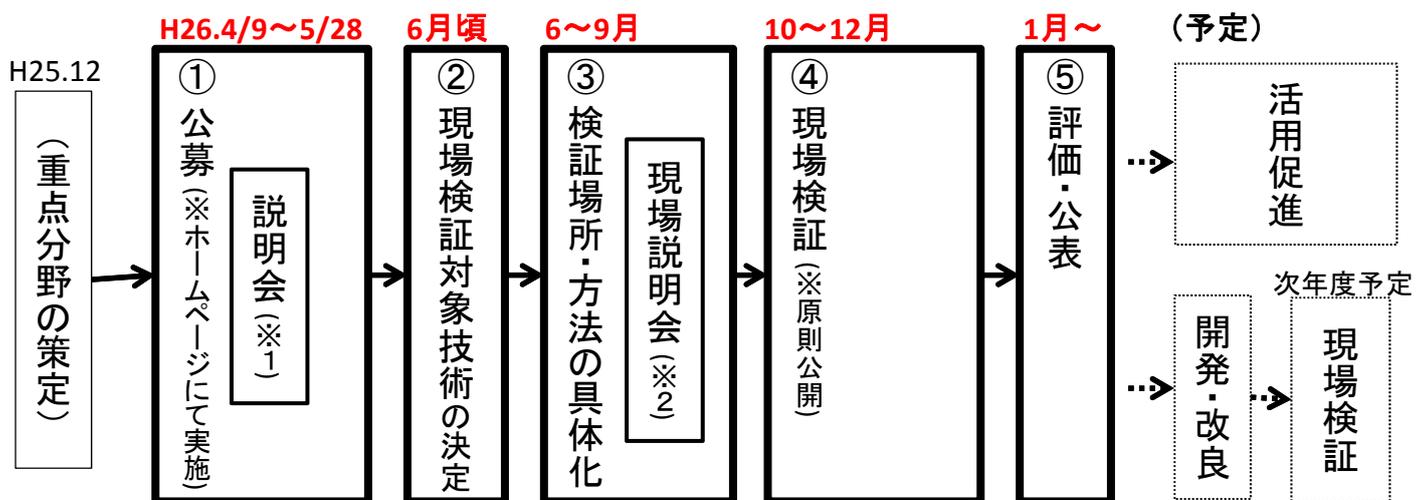
- ・「個人」、「民間企業」、「大学等」
(ただし、「個人」及び「大学等」については、3年以内の実用化を目指し、民間企業と共同開発している場合に限る)

【現場検証・評価】

- ・直轄現場等において現場検証を実施 (※現場検証は、原則公開)
- ・公募要領に示す「基本要件」、「公募技術に期待する項目」の達成度、現場で把握された課題・効果、今後の発展性を評価

【その他】

- ・本公募と並行して、開発途上の新技術の支援策としてNEDOによる『インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト』を実施。(詳細は、NEDOホームページにて)



※1 公募の説明会は、4/17～23、国土交通省(本省)にて実施予定(4/9の公募後にホームページにて連絡します)

※2 現場説明会は、6月予定の「現場検証対象者の決定」後に、調整予定

※3 お問い合わせは、4/9～5/23に、下記宛(メールアドレス)にお願いします(検証候補地への問い合わせは禁止します)

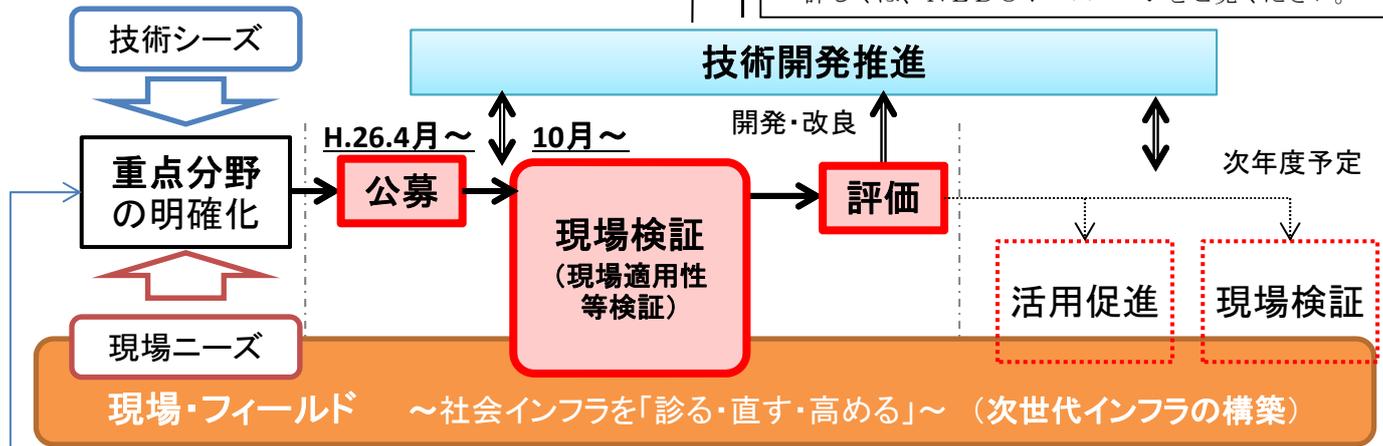
《お問い合わせ※3: 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 ロボット技術担当 robotech@mlit.go.jp》

次世代社会インフラ用ロボット開発・導入 施策概要

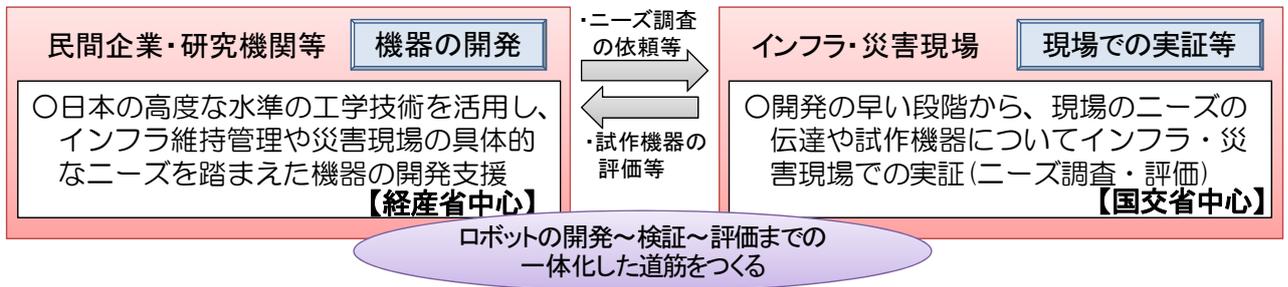
参考

社会インフラの現場ニーズ及びロボットの技術シーズに基づき、ロボット開発・導入すべき重点分野を明確化し、民間企業や大学等に対して公募し、現場検証を通じて、評価を行い、活用・開発を促進

※本公募と並行して、開発途上の新技術の支援策として、NEDOによる『インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト』を実施しております。詳しくは、NEDOホームページをご覧ください。



[重点分野] 次世代社会インフラ用ロボット開発・導入促進体制



次世代社会インフラ用ロボット開発・導入重点分野(平成25年12月25日 国交省・経産省公表) 国土交通省と経済産業省において、重点的に開発支援する分野を特定(平成26年度から開発支援)

<p>(1) 維持管理</p> <p>○橋梁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近接目視の代替ができる装置 ・打音検査の代替ができる装置 ・点検者を点検箇所近づける作業台車 <p>○トンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近接目視の代替ができる装置 ・打音検査の代替ができる装置 ・点検者を点検箇所近づける作業台車 <p>○河川及びダムの中筒所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆積物の状況を全体像として効率的に把握できる装置 ・近接目視の代替ができる装置 	<p>(2) 災害対応</p> <p>○災害状況調査 (土砂崩落、火山災害、トンネル崩落)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂崩落及び火山災害現場において、高精細な画像・映像や地形データ等の取得ができる装置 ・土砂崩落及び火山災害現場において、含水比や透水性等の計測等ができる装置 ・トンネル崩落において、引火性ガス等に係る情報の取得ができる装置 ・トンネル崩落において、崩落状態や規模を把握するための高精細な画像・映像等の取得ができる装置 <p>○応急復旧 (土砂崩落、火山災害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急復旧ができる技術 ・排水作業の応急対応ができる技術 ・遠隔・自律制御にかかると情報伝達ができる技術
--	---